

京都府の産学公連携・新産業創出プロジェクト

世界に挑戦する京都のオープンイノベーション

産業創造リーディングゾーン

未来を拓く京都産業の実現



<各産業創造リーディングゾーンの担当課連絡先>

産業創造リーディングゾーン全体 (URL: https://leading-zone.kyoto/)	総合政策環境部 地域政策室 (075-414-4513) chiikiseisaku@pref.kyoto.lg.jp	
【分野】主なテーマ	主な拠点	問い合わせ先
【アート&テクノロジー】 アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都の推進	アート&テクノロジーヴィレッジ京都 [大山崎町]	商工労働観光部 産業振興課 (075-414-4851) sangyoshinko@pref.kyoto.lg.jp
【シルクテキスタイル産業】 世界から注目されるテキスタイル産地の形成	丹後テキスタイルパーク [京丹後市] 西陣・堀川地区 [京都市]	商工労働観光部 染織・工芸課 (075-414-4858) senshoku@pref.kyoto.lg.jp
【脱炭素産業】 ZET-valleyの形成	ZET-valley [京都市・向日市]	商工労働観光部 産業振興課 (075-414-4851) sangyoshinko@pref.kyoto.lg.jp
【クロスメディア産業】 クリエイター人材の育成、コンテンツイノベーションの創出	太秦メディアパーク[京都市]	
【フードテック産業】 京都府フードテック構想の推進	けいはんなフードテックヒル [京田辺市・精華町]	商工労働観光部 文化学術研究都市推進課 (075-414-5194) bunkaga@pref.kyoto.lg.jp 農林水産部 流通・ブランド戦略課 (075-414-4968) ryutsu-brand@pref.kyoto.lg.jp
【脱炭素産業】 サステナブルパークの形成	サステナブルパーク [宮津市]	総合政策環境部 地域政策室 (075-414-4513) chiikiseisaku@pref.kyoto.lg.jp
【環日本海物流促進】 環日本海物流の促進	北部物流拠点 (京都舞鶴港) [舞鶴市] 北部物流拠点 [綾部市]	
【ヘルス・スポーツ産業】 スポーツ&ウェルネスビジネスの創出	府立京都スタジアム[亀岡市] 京都トレーニングセンター [京丹波町]	
【新名神・近未来都市形成】 城陽市東部丘陵地を核とした実証型近未来都市の形成	城陽市東部丘陵地[城陽市]	

産業創造リーディングゾーンの形成に向けて

産業創造リーディングゾーンのコンセプト

伝統産業から先端産業まで、多様な業種が集積している京都産業の強みを活かした府域の北から南までの「産業創造リーディングゾーン」の展開

地域が持つ資源など、そこにしかない強みを生かしながら、

- ▶ 国内外から注目されるテーマを掲げ、
- ▶ イノベーションに取り組む企業の集積を図り、
- ▶ 次代の産業を創出する拠点づくりを目指す

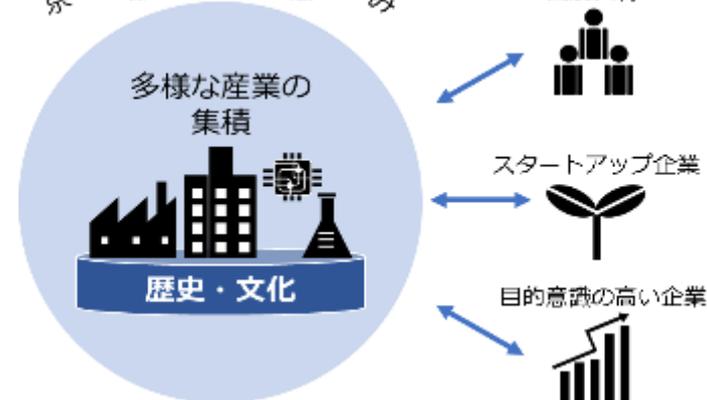
リーディングゾーンの効果を京都府全域に波及し、均衡ある発展へ!

**京都府域に世界をリードする産業創造拠点を整備し、
オープンイノベーションが持続的に起こるエコシステムの構築に向けて**

具体的な取組

- ▶ 国内外の大学・研究機関や企業とのネットワークの強化
- ▶ 幅広い企業・大学が参画する研究会の開催
- ▶ 産学共同研究等による新技術・新製品開発の促進
- ▶ スタートアップの育成
- ▶ 高度人材の紹介や人材育成等 等

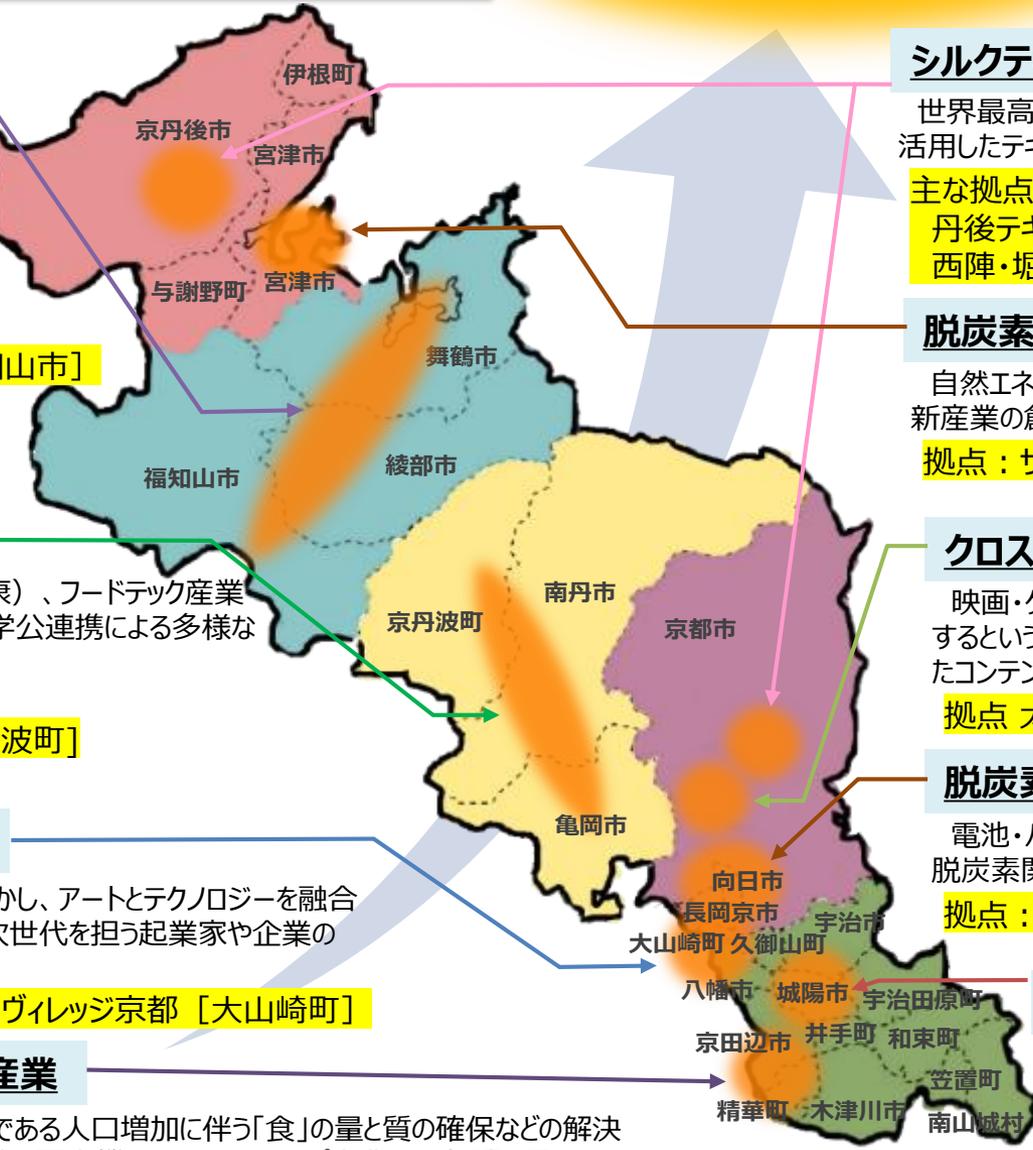
京 都 の 強 み



現在、**8つの分野**で、京都産業の特性を生かした取組を府内各地で展開中

産業創造リーディングゾーン ～未来を拓く京都産業の実現～

世界に挑戦する京都の オープンイノベーション



環日本海物流促進

先端技術を取り入れた物流の実証と研究により、京都の産業や地域を支える強靱かつ持続可能な物流システムを形成

- 主な拠点**
 京都舞鶴港 [舞鶴市]
 北部工業団地 [綾部市・福知山市]

ヘルス・スポーツ産業

スポーツ&ウェルネス（心と体の健康）、フードテック産業等をテーマに新産業創造に向け、産学公連携による多様な産業の集積を推進

- 主な拠点**
 京都トレーニングセンター [京丹波町]
 府立京都スタジアム [亀岡市]

アート&テクノロジー

京都の文化・芸術の力を生かし、アートとテクノロジーを融合させた新たな産業を創造し、次世代を担う起業家や企業の中核を担う人材を育成

- 拠点**：アート&テクノロジーヴィレッジ京都 [大山崎町]

フードテック産業

世界的な課題である人口増加に伴う「食」の量と質の確保などの解決に取り組む国内外の研究機関やスタートアップ企業等の集積を促進

- 主な拠点** けいはんなフードテックヒル [京田辺市・精華町]

シルクテキスタイル産業

世界最高レベルのシルクと染めと織りの技術を活用したテキスタイル産地を形成

- 主な拠点**
 丹後テキスタイルパーク [京丹後市]
 西陣・堀川地区 [京都市]

脱炭素産業

自然エネルギーや豊かな自然環境を由来とする新産業の創出・地域活性化を推進

- 拠点**：サステナブルパーク [宮津市]

クロスメディア産業

映画・ゲーム・アニメ・マンガ関連企業が集積するという世界でも珍しい京都の強みを生かしたコンテンツ産業の育成

- 拠点** 太秦メディアパーク [京都市]

脱炭素産業

電池・バイオ等のテクノロジーの集積を生かした脱炭素関連企業の共創の場を創設

- 拠点**：ZET-valley [京都市・向日市]

新名神・近未来都市形成

新名神周辺エリアで、関西文化学術研究都市等の研究機関と連携し、先端技術を盛り込んだ近未来都市を形成

- 拠点** 城陽市東部丘陵地 [城陽市]

リーディングゾーンのアピールポイント

① 産学官によるオープンイノベーションに参加して、自社の研究開発の幅を広げられる！
(プロジェクト支援もあり)

アート&テクノロジー、丹後テキスタイル、ZET-valley、太秦メディア、フードテックでは具体的プロジェクトが進行中。その他のリーディングゾーンでも産学官の勉強会・研究会を随時開催中

【取組例】

丹後テキスタイルパーク	すでに染織事業者が集積する丹後地域の強みを活かし、和装以外の分野も含めた新商品の開発を共同できる。国内外のデザイナー等が長期に滞在する場合に、生活面等をサポートする仕組みを構築。
ZET-valley	大学、大企業、スタートアップ企業が多数参加した「研究会」や、研究会メンバーにより、EVやバッテリー、バイオものづくり等の分野の15の共創プロジェクトが展開中であり、これらのプロジェクトに参加ができる。

② 整備される拠点に入居し、さらに腰を据えて研究開発に取り組める！

アート&テクノロジーは拠点整備済み。ZET-valley、フードテックは整備に着手予定
その他のリーディングゾーンでも民間との連携などで拠点整備を検討中。

【取組例】

ATVK	企業・大学等の交流拠点としてATVKをオープン。企業サイトに企業10社が入居。ATVKの施設を活用した企業等との様々な交流、実証等が可能
けいはんな フードテックヒル	食に関する最先端領域の研究機関や、「食」関連製造企業の集積拠点（総面積約230ha）に立地ができる。 (立地に際し補助金や府税減免など優遇制度あり)

③ 世界に向けた成果の発信・交流の機会に参加できる！

ZET-valley、フードテックでは、世界の研究者等が集う「サミット」を開催。
太秦ではメディア関係のスタートアップによるピッチ会を開催

【取組例】

ZET-valley	「ZET-summit」を開催。国内外の脱炭素スタートアップ・事業会社・地方政府・大学等が参加し、事例発表や交流・マッチング等を実施。(2023、2024の2回開催し、延べ参加者22カ国6,000名以上、マッチング600件以上)
太秦メディアパーク	「太秦NINJA PITCH」を開催。東映京都撮影所や世界遺産である仁和寺にて、スタートアップ企業が登壇し、コンテンツ分野の共創事業プランをピッチ(2023、2024で計12社のスタートアップが参加)

アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都(ATVK)の推進



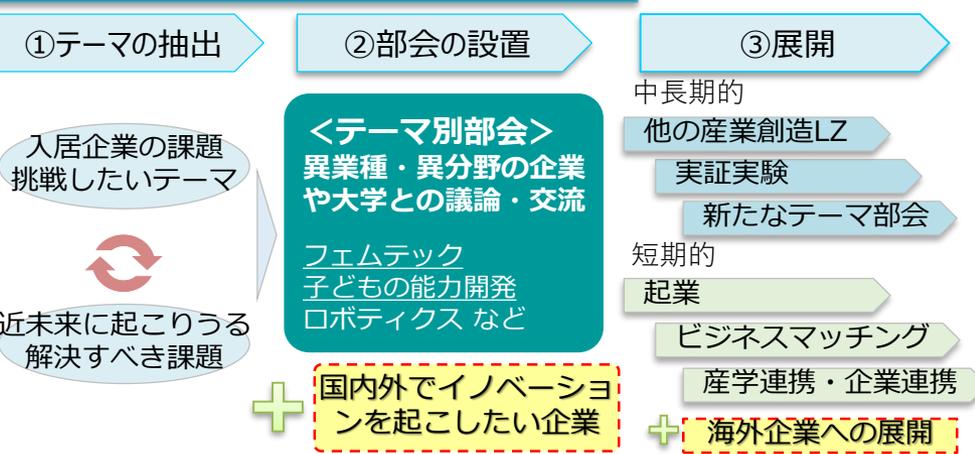
京都府の**文化・芸術の力**を生かし、**アートとテクノロジーを融合**させた**新たな産業を創造**し、**起業を促す**とともに、次世代を担う起業家や企業の中核を担う**人材育成を推進**

アート／テクノロジー／エンジニアリング／サイエンスの融合

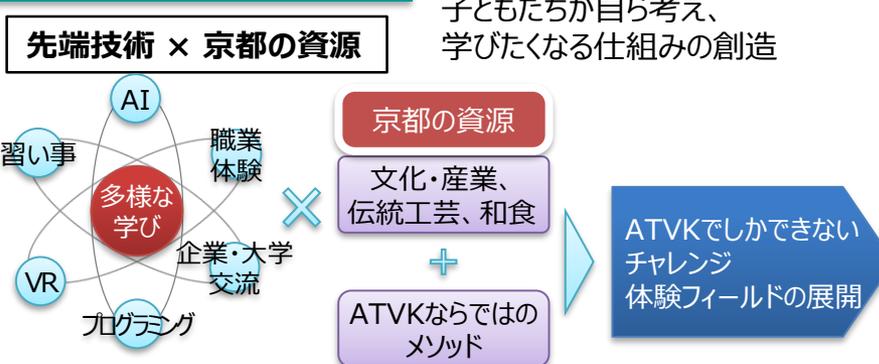


異業種・異分野のオープンイノベーションによる新産業創造のきっかけづくり (京都ならではのイノベーションエコシステムに挑戦)

ATVKのオープンイノベーション(イメージ)



(例) 子どもの能力開発部会



開催状況：準備会(R5.10.24)、第1回(R5.11.1)、第2回(R6.1.16)、第3回(R6.7.2)

(例) フェムテック部会



開催状況：準備会(令和5年9月28日)、第1回(令和5年11月1日)
第2回(令和6年1月17日)、第3回(令和6年6月21日)、第4回(令和7年2月20日)

アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都 (ATVK) の施設

アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都
(2023.10.31オープン)



交流棟

課題・テーマのオープン化

【例】

・交流会、テーマ別研究部会、企業
マッチング会およびピッチ会
子ども向けアート体験教室・工作教室



企業サイト(10区画)

・従来の科学技術的なアプ
ローチに加えてアーティスト
の感覚やアプローチがぶつ
かる研究

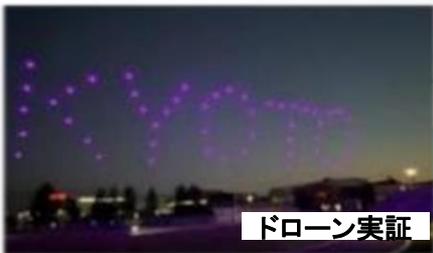
<入居企業(10社)>

・マクセル(株)、(株)HESTA大倉、
日本テレネット(株)、(株)シロク、
アンカー・シップ・パートナーズ
(株)、濱田プレス工藝(株)、
ヘッドスプリング(株)、KPMG
コンサルティング(株)、(株)日本
サルベージサービス、
KANAYA(株)

実証スペース

・地域住民が参加する実証実
験の実施

・地域住民や入居企業の憩い
の場、ライブパフォーマンスや
工作教室などのイベント開催



ドローン実証

実証スペース

クリエイティブスペース

交流棟

企業(個別)サイト

イベント広場

アートコラボスペース

【取組例】京都子ども探究博開催(2024.9.16)



アートコラボスペース

・新幹線の橋脚下など、通常
のギャラリーにはないシチュ
エーションでのアート作品の
展示およびパフォーマンス



<参画・連携団体等>

・iRCA (イギリス 国立美術芸術大学院大学RCAのイノ
ベーション部門)、シスコシステムズ(同)、
京都デザイン&テクノロジー専門学校、その他

世界から注目されるテキスタイル産地の形成



<目指す姿> 世界から注目されるテキスタイル産地の形成

- <主な取組> ①既存施設のリノベーションによる**拠点整備**
②世界のクリエイター等との**オープンイノベーションの推進**

拠点整備

丹後織物工業組合加工場をリノベーションし、オープンファクトリーのルート整備や、ショールーム・ショップスペース等を整備



オープンファクトリー整備



ショールーム・ショップ等整備



世界から注目されるテキスタイル産地の形成

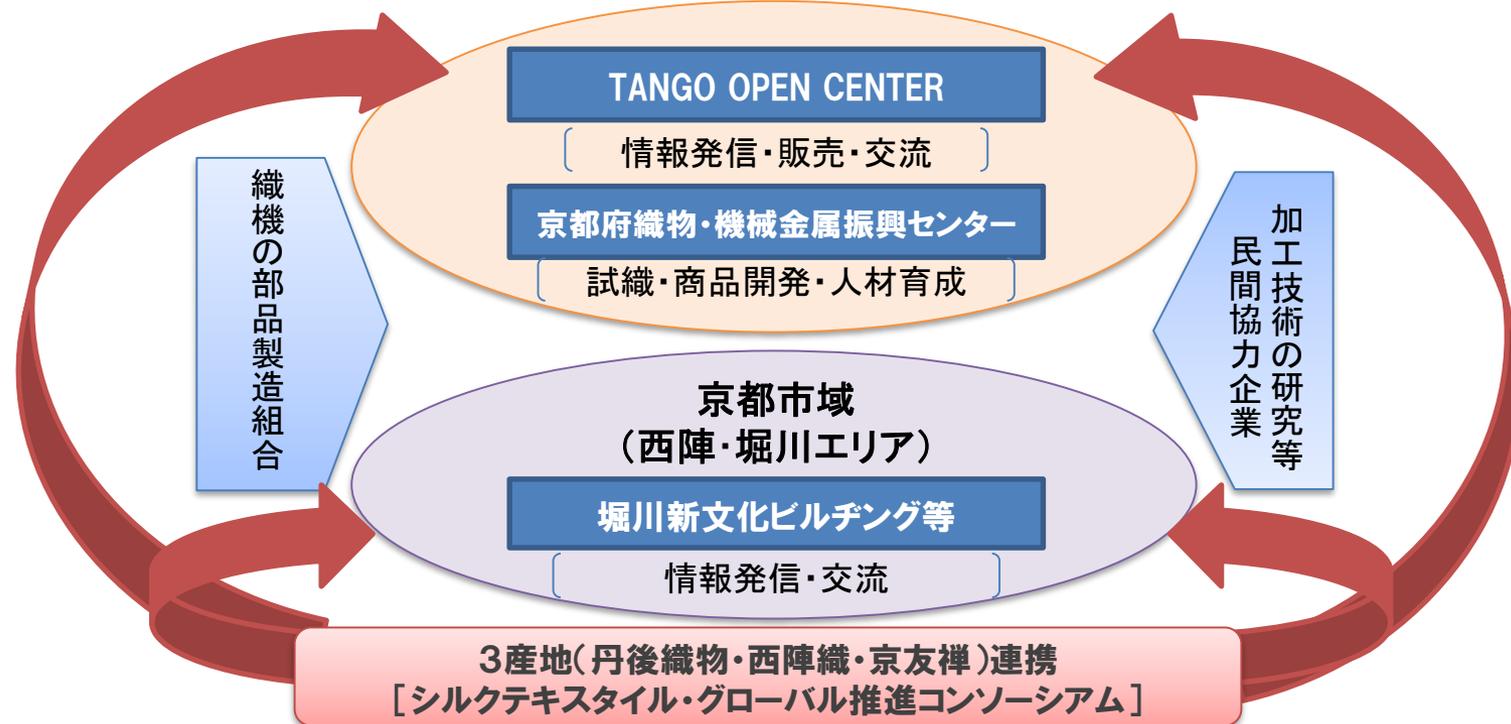
オープンイノベーションの推進

海外のインテリアやファッションのクリエイター等が、丹後に長期間滞在し、丹後の織物事業者等との協同による商品開発が実施できる体制を構築

<https://www.nextango-kyoto.com/>



事業推進体制



ZET-valleyの形成

ZET-valleyが
目指すこと

ゼロカーボンものづくりによる
ゼロカーボンまちづくり



地産地消型社会

石油から空気へ、地方が最先端へ、制約から拡張へ

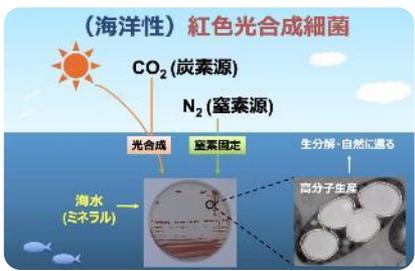
ZET-valleyリーディングゾーン

EV・バッテリー・バイオものづくり関連企業・研究機関が
集積し、都市部故に新技術が希求されるゾーン

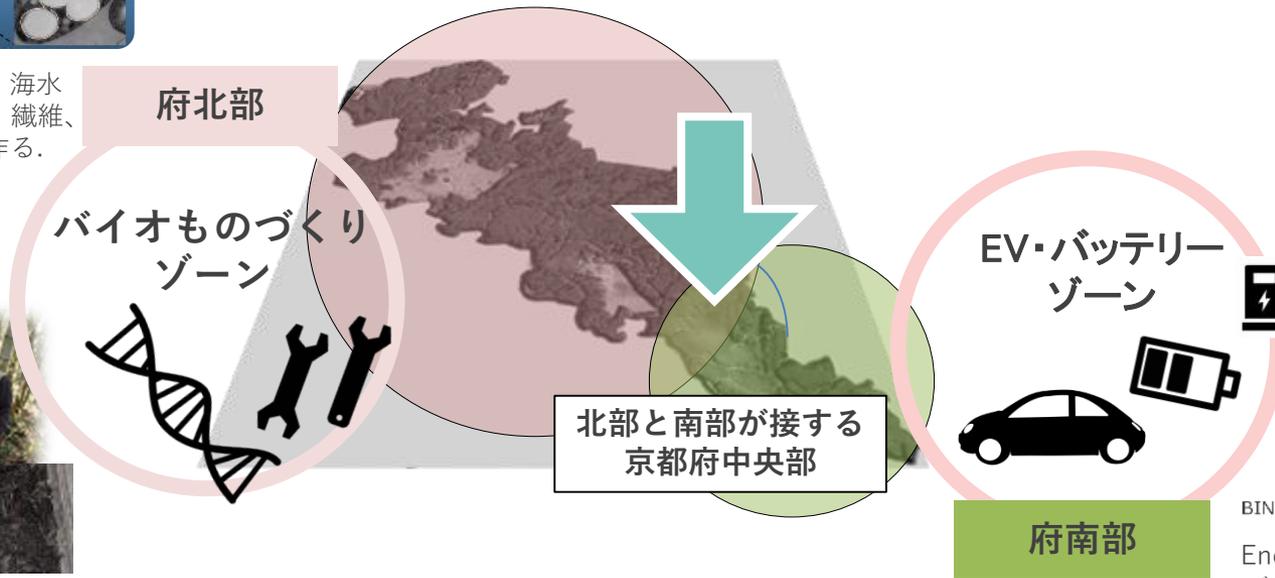
(交流・共創・実証・実装の拠点)



ドローン×森林解析AI
(樹種、生育状況、炭素蓄積量の推定)



CO2、窒素、太陽光、海水を資源に肥料、飼料、繊維、代替プラスチックを作る。



府北部

バイオものづくりゾーン

府南部

EV・バッテリーゾーン

北部と南部が接する
京都府中央部



バイオマス熱分解技術による竹林高速炭化



BIND Battery®内臓電源

EnePOND®によるリユース
バッテリー活用EV急速充電

ZET-valleyの形成

- 企業向け、大学向け、住民向け、自治体向けなど、あらゆる角度から脱炭素テクノロジー（ZET）の社会実装を進め、産学公連携でゼロカーボンのものづくりによるゼロカーボンのまち「ZET-valley」の形成を目指す。



脱炭素関連スタートアップ支援施設
「ZET-BASE KYOTO」 (JR向日町駅前 R7.4.21オープン)

クリエイター人材の育成、コンテンツイノベーションの創出

「太秦メディアパーク」構想

映画・映像、アニメ、ゲーム等のコンテンツ関係企業、DX・ICT関連企業が集積し、教育、ものづくり、医療、観光等との異分野融合によって、世界をリードするオープンイノベーション拠点へ



クロスメディア産業



研究会

○メタバース検討会:
「メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言」策定



共創プロジェクト

- 教育: ARによる作業指示支援システム
- ものづくり: 試作デザインVR確認システム
- 医療: ARによる手術支援システム 等



教育、ものづくり、医療、観光など大きく拡大する市場における新産業創出



取組経過・概要

コンテンツ産業振興

異分野融合

コンテンツ産業

× ICT技術 → メタバース・Web3



共創プロジェクト

教育、ものづくり、医療、観光等の分野

29件の事例創出 (R4:15件、R5:14件)

太秦NINJA PITCH

コンテンツ×スタートアップ



BitSummit
(インディーズゲーム
イベント)との連携

× スタートアップ

各分野の人材育成と企業集積を促進

- ・ 映画 : 監督デビュー10名
時代劇映画制作ラボ 419名参加
- ・ ゲーム : 日本最大のインディゲーム市場を創造
ゲーム企業が4倍増(15→60社)
- ・ アニメ : アニメ企業増加1社→7社

- ・ 松竹撮影所内への立命館大学
キャンパス誘致



- ・ 東映京都撮影所内へのVR/IA誘致
- ・ 東映太秦映画村の再開発
- ・ オープンイノベーションラボの建設要望中

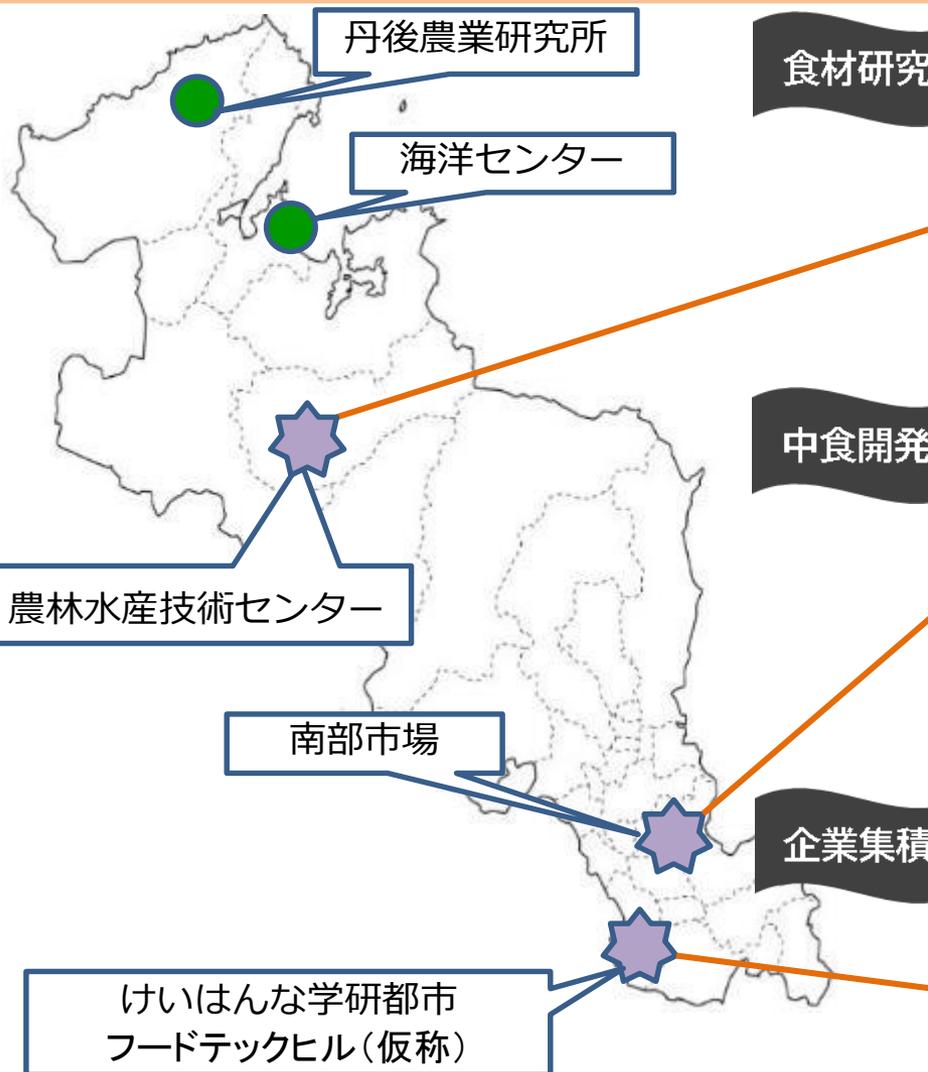
新産業の創造

ソフト支援

ハード整備

京都フードテック基本構想

「食」×「テクノロジー」×「伝統・文化」の総合力の発揮により、
京都らしい食のイノベーションを実現し、**農林水産業や食関連産業を
取り巻く課題の解決とブランド力の強化を推進**



食材研究

一次産業の研究拠点

● 農林水産技術センター<機能強化>

高機能性新品種や有機栽培、スマート農林水産業など、次世代型農林水産業の実現に向けた生産技術の研究開発・実証拠点

中食開発

機能性加工食品等の開発拠点

● オープンイノベーションラボ <新設>

「京都フードテック研究連絡会議（仮称）」のシーズと加工企業をつなぎ、冷凍高機能性中食などの試作品を開発・評価・ブラッシュアップするオープンイノベーション拠点

企業集積

「食」の最先端研究と関連製造企業の集積拠点

● けいはんな学研都市（フードテックヒル（仮称））

機能性表示食品や次世代食品、冷凍流通技術など、最先端領域の研究と、特色ある「食」関連製造企業の集積拠点

サステナブルパークの形成



関西電力宮津エネルギー研究所跡地（宮津市）のエリアを中核とした「サステナブルパーク」の形成に向け、京都府、宮津市、関西電力(株)の3者が一体となって産業集積に取り組む。

<背景>

- 令和5年3月22日：京都府、宮津市、関西電力(株)の3者が協力して、新産業創出に取り組むことを確認
- 4月11日：関西電力(株)が宮津エネルギー研究所の廃止を決定
- 5月30日：PR施設「丹後魚っ知館」の閉館
- 5月31日：宮津エネルギー研究所の廃止



<サステナブルパークの形成に向けて>

◆ 企業向け現地見学会・勉強会の開催

京都府主催で企業向け勉強会等を実施し、これまでに関西や関東の企業約30社が参加

◆ サステナブルパーク企業誘致推進協議会の開催

企業誘致への推進に向けた体制を京都府、宮津市、関西電力の3者で構築し、情報の共有等を図る。



- 令和10年度の用地引渡しが可能となるよう、サステナブルパーク企業誘致推進協議会での連携の強化
- 幅広い企業や大学の参画のもと研究会やオープンセミナーの開催などにより、「サステナブルパーク」の形成を推進

サステナブルパークの形成

サステナブルパーク勉強会

- 当該跡地での持続可能な産業の集積エリア「サステナブルパーク」の形成を目指して、「サステナブルパーク勉強会」を開催
- サステナブルパークに関心・共感する企業に勉強会への参加を呼びかけ、当地の地域資源（ハード、ソフト両面）を生かしたサステナブルに関連する取組の実現に向けた意見交換を実施

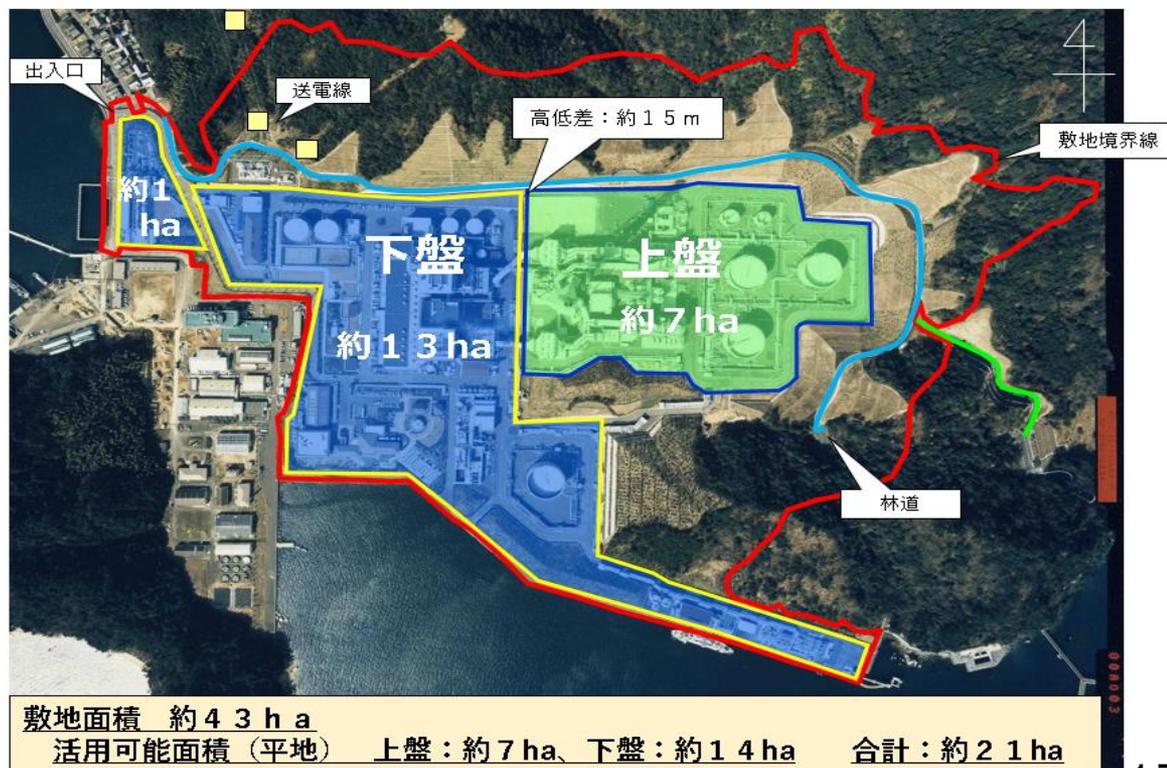
「サステナブル」のキーワード

- 脱炭素・環境負荷低減
- 持続可能な農林水産業 etc

サステナブルパーク勉強会

- **第1回** 令和5年5月31日
@関西電力宮津エネルギー研究所跡地
現地見学会を実施し、環境や漁業関連産業等の企業が参加
- **第2回** 令和6年7月1日
@川崎重工業株式会社神戸工場
水素利用の先進的取組を行う企業を視察し、脱炭素産業等の企業が参加
- **第3回** 令和7年3月6日
@NTTグリーン&フード磐田プラント
環境負荷の少ない陸上養殖を行う企業を視察し、観光産業等の企業が参加

サステナブルパークの中核エリア（活用面積約21ha）



環日本海物流の促進



高速道路や京都舞鶴港、北部工業団地、府南部地域の基幹物流と連携し、福知山、綾部の工業団地をはじめとする地域産業を支える**北部物流拠点群の形成**とともに、様々な物流課題に対応するため、**強靱かつ持続可能な物流ネットワークの構築（京都モデル）**を図る

当面の取組

- ▶ 企業、大学、地方自治体、国等の多様な主体が連携・協働し、先端技術の物流網への導入など、共助・公助の両方の観点から知恵を出し合い、強靱かつ持続的な物流ネットワークの構築を目指す場を（研究会、勉強会、意見交換会、実証実験等）
- ▶ 物流課題の共有化やテーマ別のグループ組成による取組等を進め、国への提言へもつなげる。

京都府の物流網

【基幹物流】

【サブ物流】



(仮称)青谷地区基幹物流施設イメージパース(提供:三菱地所株式会社)



京都舞鶴港

検討テーマ

【B to B】

工業団地 (福知山・綾部)
地域物流拠点

- 自動運転時代を見据えた南部物流の整備 (基幹物流施設周辺の産業立地の可能性)
- 2024年問題を見据えたモーダルシフト検討 (海運の活用促進と陸運との結節の可能性)
- 北部物流拠点確保のための機能強化 (共同配送・混載等による省力化、中小企業対応)

【B to C】

店舗・施設・地域住民
(孤立しやすい中山間の過疎地域)

- ラストワンマイル物流の実装化 (再配達効率化・災害時の孤立化防止)

新時代の物流に関する研究会・意見交換会

- ・物流は、働き方改革に伴う「2024年問題」やEC宅配の急増、過疎地域での配送効率の低下等により、日本全体で喫緊の課題となっている。
- ・京都府はその地域特性（南部：基幹物流、北部：サブ物流、舞鶴港）や人口減少社会における人材確保の問題、災害時に孤立しやすい過疎地域の存在など、日本の縮図とも言える物流課題を抱えることから、全国に向け、物流課題解決に資する発信をしていきたい。

【キーワード】「効率化」「DX化」「セキュリティ」「脱炭素」「安心安全」

新時代の物流に関する意見交換会

令和6年1月25日(木)オンライン

研究会立ち上げに先立ち、物流に関する関係企業・団体から現場からの生の声や提案をいただくため、第1回の意見交換会を開催（物流事業者、国、府を始めとした約30企業・団体が参加）**結果概要**：<https://leading-zone.kyoto/501/>

体制	
座長	奈良先端大学科学技術大学院大学サイバーレジリエンス構成学研究室 教授 門林 雄基
副座長	NEXT Logistics Japan(株) 会長 下 義生
メンバー	物流問題に関係する企業・団体・研究機関 京都府関係課・団体
事務局	京都府総合政策環境部地域政策室

物流に関するミニ勉強会

オンラインZoom形式、1回45分程度

多岐にわたる物流分野に関する話題を参加者間で共有する勉強会を開催

- ・第1回：「皆で運ぶ物流の未来」
- ・第2回：「デジタル・セキュリティと物流」
- ・第3回：「過疎地域における物流網の維持」
- ・第4回：「物流のモーダルシフト」

【効果等】

- ・参加企業からの紹介によるメンバーの広がり、企業間交流のきっかけ
- ・府研究会メンバーによる水素をテーマとしたセミナー・実証見学会の紹介（3/12:福知山市）

スポーツ&ウェルネスビジネスの創出



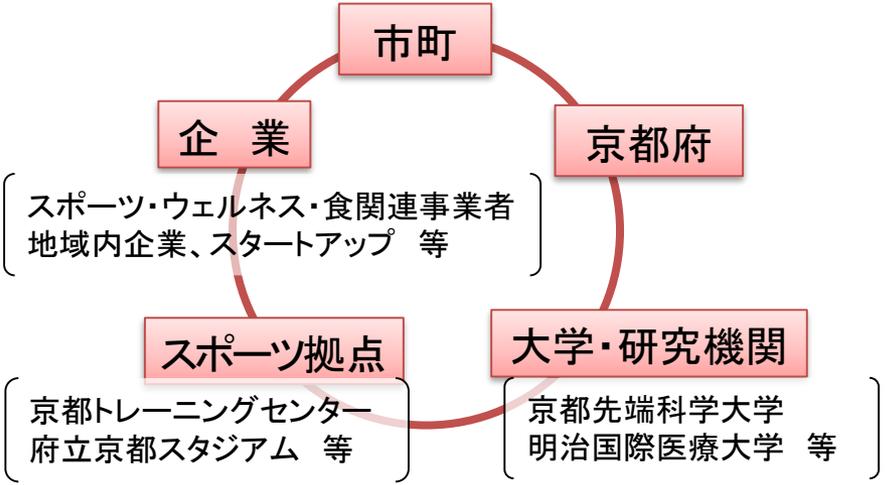
南丹地域（亀岡市・南丹市・京丹波町）において、スポーツやウェルネス（心と体の健康）の分野に加え、これらを支える「食」に関するフードテックをテーマに、企業誘致を図るとともに、地域資源を活かしたワーケーションやスポーツツーリズム等を通じた新ビジネス等の創出を推進。

- 南丹地域の特徴
- 京都府域の中央に位置し、府中部と京阪神地域を結ぶ交通の要衝
 - 大都市に近接しながら豊かな森や田園風景に恵まれた自然環境
 - 府立京都スタジアムや京都トレーニングセンターなどのスポーツ拠点が整備
 - 京のブランド産品など特色ある農産物や畜産物、木材の高いシェアを誇る



■ 当面の取組

- 企業・大学等との交流会の開催と地域課題にアプローチするプロジェクトの組成
- 新たな技術の実用化やビジネスモデルの創出に向けた具体的な実証事業の展開



■ 地域・社会課題例

- 健康寿命の延伸
 - スポーツイベントの付加価値向上
 - 運動機会の増加や運動習慣化の促進
 - 健康や運動に関するデータの蓄積とその活用
 - スポーツ施設の有効活用
 - スポーツ環境の地域間バランスの改善
- 等々

スポーツ&ウェルネスビジネスの創出

交流会の開催

これまで計4回開催（累計参加 93企業・団体）



多様な視点からのディスカッションを通じ、スポーツや健康に関する社会課題の解決に向けて、南丹地域をフィールドとして、新たなプロジェクトの芽を育む。

Sports & Wellness Pitch開催と優勝企業による実証事業の実施

IVS2025公認サイドイベントとして開催し、応募企業（27社）から優勝企業を選考



スポーツ庁等、国関連事業への手上げ

実証事業の実施



南丹地域のスポーツイベントの付加価値向上のため、新たな測定プログラムの開発や親子でユニバーサルスポーツを体験できる機会創出

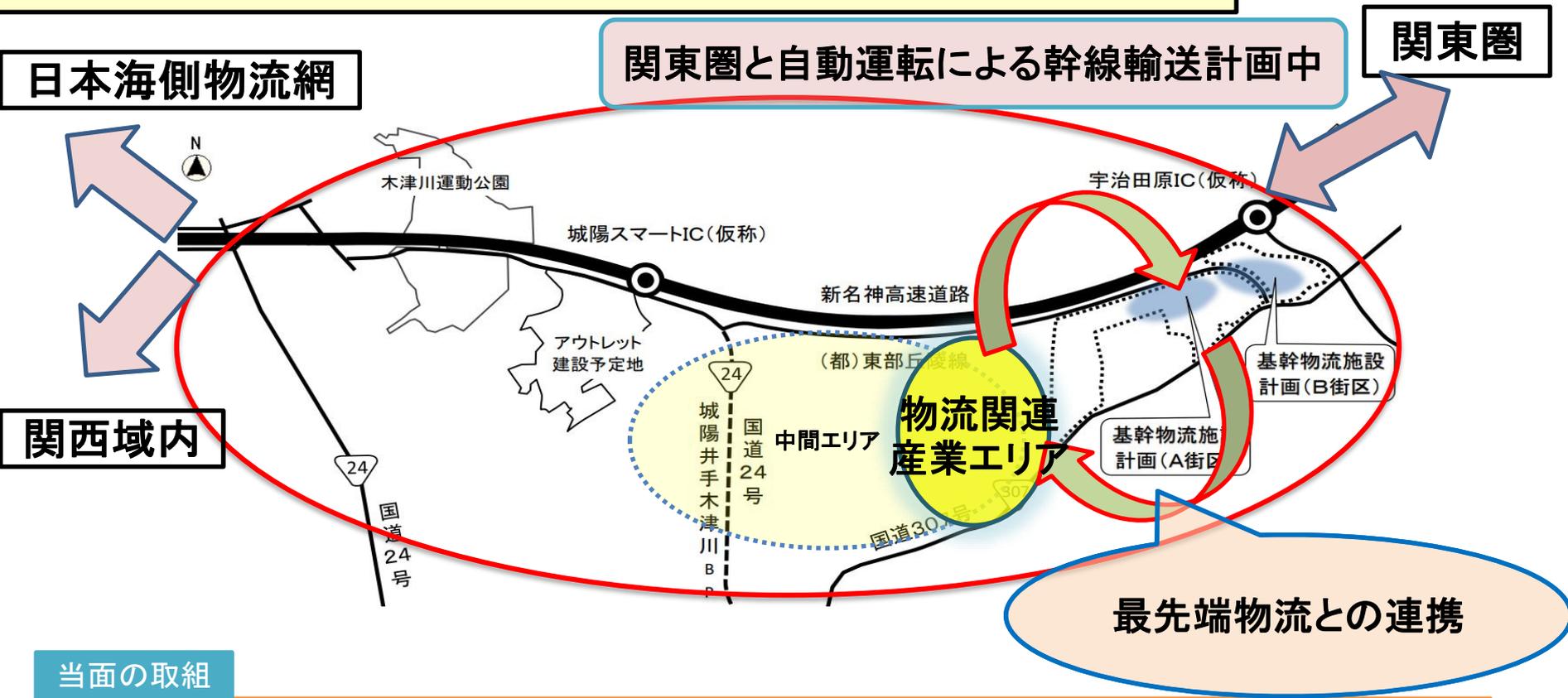
住民のウェルビーイング向上や施設の有効活用のため、府立京都スタジアムを中心とした足からウェルビーイングを支える『ASHI-TERRACE』実証事業

運動実施率向上や習慣化促進のため、運動できるきっかけづくりや習慣化の仕組みづくりを実施

城陽市東部丘陵地を核とした実証型近未来都市の形成



城陽市東部丘陵地に建設される**次世代基幹物流拠点を核に、周辺地域に自動化・脱炭素化に対応した最先端の物流関連の産業集積**を図るとともに、**関西文化学術研究都市等とも連携し、実証型の近未来都市形成を目指す**。また、**アウトレットモール整備を起点に、商業施設の集積を図る等、周辺市町村のまちづくりと連携し、都市機能の充実並びに産業創出に繋げる**。



当面の取組

東部丘陵地の整備を起点に、まずは、環日本海物流と連携した京都独自の近未来型の産業集積を目指し、**自動運転時代に向けた物流管制・運行支援に係る実証事業の検討を進める**とともに、商業施設の集積等、広域連携を見据えた周辺地域への波及効果を検討する。

